

資料 2

事業名	地域包括支援センターによる支援	結果	○	
現状と課題 具体的な取組	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業等を実施し、平成 27 年度から地域ケア会議の充実、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備が新たに位置づけられ、地域包括支援センターの機能強化が求められる。 地域包括支援センターと関係機関との連携体制の構築を推進し、地域包括支援センターの体制強化を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を安心して送ることができるように包括的支援事業を推進する。			
事業内容 取組実績	1 地域包括支援センターによる支援			
	(1) 介護予防ケアマネジメント			
	要支援 1・2 の対象者や要介護・要支援状態になるおそれのある虚弱な高齢者を早期に発見し、個々の高齢者に自立した日常生活を目指して適切な介護予防サービス等が提供されるよう、生活状態に応じた包括的かつ継続したマネジメントを行った。			
	● ケアプラン作成件数（要支援 1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者）			
		R3年度	R4年度	R5年度
	包括支援センター作成	6,466 件	6,509 件	6,500 件
	委託作成	613 件	518 件	500 件
	合計	7,079 件	7,027 件	7,000 件
	● ケアプラン作成内訳（要支援 1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者）			
		R3年度	R4年度	R5年度
介護予防サービス計画 （要支援 1.2）	4,000 件	3,975 件	4,000 件	
介護予防ケアマネジメント （介護予防・生活支援サービス事業対象者）	3,079 件	3,052 件	3,000 件	
合計	7,079 件	7,027 件	7,000 件	
(2) 総合相談・支援				
介護保険サービス、保健・医療・福祉サービス、関係機関等制度の利用につなげるなどの総合的な支援を行った。				
		R3年度	R4年度	R5年度
相談件数	計画	1,600件	1,600件	1,600件
	実績	1,854件	1,748 件	1,600 件
(3) 権利擁護				
市民や地域関係者からの相談に対して個々のケースに合わせた情報提供を行うとともに、市長申立て、親族等申立て費用助成、後見人等報酬扶助等の支援を行う。また、滝川市社会福祉協議会に成年後見制度の普及啓発、相談支援、市民後見人の養成を委託し、連携を取りながら、権利擁護事業を行った。				

		R3年度	R4年度	R5年度
市長申立件数	実績	0件	3件	3件
市民対象研修会	計画	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)
	実績	0回	0回	0回

※令和3年度から、研修会に代わり、滝川市社会福祉協議会と合同で、権利擁護に関する普及啓発を目的に、市民向け市役所ロビー展示を行う。(年1回)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

事業所ネットワーク会議や研修会などを通じ、主治医や介護支援専門員、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携等の多職種の連携支援を行うとともに、個々の介護支援専門員に対する個別相談、困難事例への助言を実施した。

		R3年度	R4年度	R5年度
事業所ネットワーク会議 開催回数	計画	6回	6回	6回
	実績	6回	6回	6回
事業所ネットワーク会議 研修開催回数	計画	2回	2回	2回
	実績	1回	2回	1回

(5) 地域ケア会議の推進

個別の事例検討から個別課題の解決、ネットワーク構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発を行った。

		R3年度	R4年度	R5年度
個別会議開催回数	計画	3回	3回	3回
	実績	1回	3回	3回
自立支援型会議開催回数	計画	12回	12回	12回
	実績	11回	11回	12回
推進会議開催回数	計画	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回

2 在宅医療・介護連携の推進

(1) 現状分析・課題抽出・施策立案

①地域の医療・介護の資源の把握

高齢者お助けかわら版による周知。随時更新し、ホームページに掲載。

②在宅医療・介護連携の課題の抽出

在宅医療介護連携推進会議の開催(年2回)事例報告と意見交換から課題を抽出。

③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

医療機関の連携室を通じての退院調整会議・入院などの相談。

(2) 対応策の検討

①在宅医療・介護関係者に関する相談支援

地域包括支援センターと滝川市立病院地域医療室を相談窓口としての相談支援を行う。

②地域住民への普及啓発

	高齢者が、自分の受けたいケアや終末期について考える機会として、「生きて逝くノート」を活用した、「人生会議ミニ講座」を、市内老人クラブ、いきいき百歳体操会場等で実施。 ③医療・介護関係者の情報共有の支援 入退院時情報提供書を活用した、地域の医療・介護関係者間の情報共有を推進する。 ④医療・介護関係者の研修 自立支援型地域ケア会議において、専門職助言者の参加により多職種間の事例検討を実施する。 ・多職種参加の在宅医療・介護連携に関わる研修会 ・市主催 事業所ネットワーク研修会「医療・介護従事者が知っておくべき新型コロナウイルス感染症対策」 ・市主催 在宅医療・介護連携推進研修会「介護職員が知っておきたい高齢者の皮膚・排泄ケア」 ・市主催 自立支援サポート会議助言者研修会（兼リハ職ネットワーク会議研修会）「地域ケア会議における助言者の役割と専門職に期待すること」 （３）対応策の評価・改善 対応策の評価・改善を行いながら、PDCA サイクルに沿った取組を実施。 （４）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 滝川保健所主催の中空知保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療領域検討会議で情報交換を行う。
課題と対応策	１ 地域包括支援センターによる支援 （１）介護予防ケアマネジメント（P46） ケアプラン作成件数は、今期は横ばいだが、総件数は5年前と比べて1,000件増であり、年間7,000件のケアプランに対応するための安定した介護支援専門員の確保が必要である。自立支援と本人の意思決定を尊重したケアプランとなるよう、自立支援サポート会議や訪問型サービスCなど多職種連携を図りながら、ケアマネジメントの質の向上に努める。 （２）総合相談・支援（P47） 認知症高齢者や家族がいない又は疎遠な高齢者の増加により、対応に時間のかかる事例が増えている。困難な相談にも対応できるような職員体制をはかる。 （３）権利擁護（P48） 社会福祉協議会の「生活あんしんサポートセンター」とともに、成年後見支援事業に関する普及啓発、相談体制の強化に努めるとともに、中核機関の設置を進める。 （４）包括的・継続的ケアマネジメント支援（P49） 今後も、情報交換や研修を通じて、資質の向上と関係者間の連携を強化を図る。事例検討会等を通して困難事例を抱える介護支援専門員のサポートを行う。 （５）地域ケア会議の推進（P49） 地域の困難事例の検討を行う「個別会議」により、住み慣れた地域で安心し

	て生活を続けられるよう、課題の解決に努める。 要支援1・2のサービス利用者対象に行う「自立支援型サポート会議」により、自立へ向けた働きかけができるようなスキルの向上を図るとともに、共通する課題から地域課題の発見と対応につなげていく。 2 在宅医療・介護連携の推進（P51） （1）現状分析・課題抽出・施策立案 ①地域の医療・介護の資源の把握 新規事業所の情報を迅速に収集し、「高齢者お助けかわら版」として冊子の他ホームページに掲載する。 ②在宅医療・介護連携の課題の抽出 抽出された課題の対応について検討し、実施できるところから取り組む。課題によっては対応が難しい。 ③切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 入退院時における連絡・調整がスムーズに行えるような連携体制構築のために関係機関と情報交換を行う。 （2）対応策の検討 ①在宅医療・介護連携に関する相談支援 医療関係者と介護関係者の相互理解を深めさらなる連携を図ることができるよう、研修や意見交換の機会を設ける。 ②地域住民への普及啓発 終末期ケアや在宅での看取りに関する普及啓発の機会を設ける。 ③医療・介護関係者の情報共有の支援 関係機関との情報共有ツールについて、ICTの活用等、意見交換や検討を行う。 ④医療・介護関係者の研修 新規就業者もいることから、医療・介護の双方の理解につながるような研修会の開催や情報提供を行う。 （3）対応策の評価・改善 引き続き対応策の課題等を確認した上で、評価・改善を行う。 （4）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 滝川保健所主催の中空知保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療領域検討会議で情報交換を行い、必要時連携をはかる。
--	---

事業名	認知症施策の推進	結果	○																																																													
現状と課題 具体的な取組	滝川市の75歳以上高齢者は2025年度まで増加すると見込まれており、後期高齢者の急速な増加は、認知症高齢者の増加と深く結びついています。認知症高齢者を判定する「認知症高齢者日常生活自立度判定基準」において、認知症自立度Ⅱ以上の方が2017年4月1日で1,637人となっており、2025年度には2,043人に到達すると見込まれることから、認知症になっても安心して暮らせる地域社会を作り出していく必要がある。 認知症予防のため普及啓発や予防講座を実施します。また、認知症の早期発見と対応のため、認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進を図り、認知症地域支援推進員を中心に物忘れ相談の実施、認知症サポーターの養成・育成をします。さらに認知症になっても地域で安心して暮らせるよう認知症ケアパスの普及、SOSネットワーク事業、認知症カフェの運営支援等行う。																																																															
事業内容 取組実績	(1) 認知症予防 ①認知症予防の普及啓発事業（認知症予防講座） 認知機能低下予防の考え方や日常生活で取り組みやすい効果的な対策など認知症に関する知識の普及啓発を行うため出前講座や講演会等実施した。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td rowspan="2">開催回数</td><td>計画</td><td>14回</td><td>14回</td><td>14回</td></tr><tr><td>実績</td><td>8回</td><td>7回</td><td>14回</td></tr><tr><td rowspan="2">参加者数</td><td>計画</td><td>200人</td><td>200人</td><td>200人</td></tr><tr><td>実績</td><td>93人</td><td>65人</td><td>200人</td></tr></table> ②認知症予防事業 地域体操教室や老人クラブの場を活用し「認知症ミニ講座」を実施した。 ③安全運転を継続するための認知症予防の取組 高齢者の運転特性を自覚した上で、なるべく長い期間安全運転を続けるために、空知自動車学校で介護予防情報コーナーを実施した。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>実績</td><td>6回</td><td>5回</td><td>随時</td></tr><tr><td>延参加者数</td><td>実績</td><td>33人</td><td>49人</td><td>常設</td></tr></table> (2) 認知症の早期発見と対応 ①認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進 認知症のファーストタッチにおいて専門医等との連携による集中的な支援を行い、認知症状の安定、家族などの負担軽減に努めた。 (認知症初期集中支援チーム会議) <table><tr><td colspan="2"></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td rowspan="2">開催回数</td><td>計画</td><td>12回</td><td>12回</td><td>12回</td></tr><tr><td>実績</td><td>10回</td><td>11回</td><td>12回</td></tr><tr><td rowspan="2">検討事例数</td><td>計画</td><td>12例</td><td>12例</td><td>12例</td></tr><tr><td>実績</td><td>10例</td><td>11例</td><td>12例</td></tr></table>					R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	計画	14回	14回	14回	実績	8回	7回	14回	参加者数	計画	200人	200人	200人	実績	93人	65人	200人			R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	実績	6回	5回	随時	延参加者数	実績	33人	49人	常設			R3年度	R4年度	R5年度	開催回数	計画	12回	12回	12回	実績	10回	11回	12回	検討事例数	計画	12例	12例	12例	実績	10例	11例	12例
		R3年度	R4年度	R5年度																																																												
開催回数	計画	14回	14回	14回																																																												
	実績	8回	7回	14回																																																												
参加者数	計画	200人	200人	200人																																																												
	実績	93人	65人	200人																																																												
		R3年度	R4年度	R5年度																																																												
開催回数	実績	6回	5回	随時																																																												
延参加者数	実績	33人	49人	常設																																																												
		R3年度	R4年度	R5年度																																																												
開催回数	計画	12回	12回	12回																																																												
	実績	10回	11回	12回																																																												
検討事例数	計画	12例	12例	12例																																																												
	実績	10例	11例	12例																																																												

②認知症地域支援推進員の活動の推進

認知症の方がその状態に応じて必要な医療や介護などのサービスを受けられるよう、各サービスの連携支援を行い、認知症支援体制を構築した。

③物忘れ相談の推進

認知症普及啓発月間や年金支給月に合わせて「物忘れ相談プログラム」(MSP)を実施し、早期発見・早期対応に努めた。予約制の個別相談を行い、より詳しいプログラム(T-DAS)を実施した。

(物忘れ相談プログラムを活用した物忘れチェック)

		R3年度		R4年度		R5年度	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
地域体操 教室・町 内会	計画	2回	20人	2回	20人	2回	20人
	実績	-	-	-	-	-	-
認知症力 フェ	計画	2回	10人	2回	10人	2回	10人
	実績	-	-	-	-	-	-
その他	計画	2回	40人	2回	40人	2回	40人
	実績	-	-	-	-	-	-
合 計	計画	6回	70人	6回	70人	6回	70人
	実績	-	68人	-	24人	6回	70人

(T-DASを活用した個別相談)

		R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	計画	40回	40回	40回
	実績	23回	19回	40回
実施数	計画	50人	50人	50人
	実績	23人	19人	50人

(3) 認知症になっても地域で安心して暮らせる取組**①認知症ケアパスの普及**

認知症ガイドブック(認知症ケアパス)を作成し、各種相談窓口や関係機関に配布し、情報共有に努めた。

②認知症サポーター養成講座

認知症に関しての理解を深められるよう、各地域、企業、学校等で講座を実施した。

		R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	計画	5回	5回	5回
	実績	2回	4回	5回
養成人数	計画	100人	100人	100人
	実績	29人	72人	100人
認知症サポーター 一総数	計画	3,709人	3,809人	3,909人
	実績	3,618人	3,690人	3,790人

		R3年度	R4年度	R5年度
オレンジ倶楽部 登録者数	計画	80人	85人	95人
	実績	96人	117人	127人

令和3年度より、認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座修了者で認知症本人、家族とともに活動する「チームオレンジ」を開始した。

		R3年度	R4年度	R5年度
チームオレンジ 登録者数	実績	20人	28人	30人

③徘徊（はいかい）高齢者等 SOS ネットワーク事業

SOS ネットワークのPRに努め、介護サービス事業所等と連携し、早期登録を促進した。

		R3年度	R4年度	R5年度
登録者数	計画	125人	130人	135人
	実績	76人	106人	135人

④認知症カフェ支援事業

認知症の方も楽しみながら参加できる認知症カフェの運営を支援した。

		R3年度	R4年度	R5年度
会場数	計画	4か所	4か所	4か所
	実績	2か所	2か所	5か所
開催回数	計画	56回	56回	56回
	実績	29回	44回	56回
延参加者数	計画	1,500人	1,500人	1,500人
	実績	1,101人	1,068人	1,500人

⑤認知症本人の会「すまいる」

若年性認知症や軽度認知症の方同士が互いの経験や思いを共有し、今後の生活に役立てる機会を実施した。

		R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	実績	1回	4回	5回
延参加者数	実績	5人	53人	60人

⑥コミュニティ農園畑楽(はたらく)

介護サービスにつがっていない若年性認知症や軽度認知症の方とその家族を対象としたコミュニティ農園畑楽を実施した。

		R3年度	R4年度	R5年度
開催回数	実績	1回	6回	7回
延参加者数	実績	19人	212人	200人

課題と対応策	3 認知症施策の推進 (1) 認知症予防 ①認知症予防の普及啓発事業（認知症予防講座）（P53） これまで参加者が一部に限られていたが、犬の散歩で認知症高齢者を見守るわんわんパトロールでは、今まで関わりがなかった人達の参加につながっていることから、今後も様々な機会を通じて一層の普及啓発を図りたい。 ②認知症予防事業（P54） 取り組みを継続しながら、早期発見・早期治療につながるような働きかけと老人クラブの講座や地域体操教室の茶話会等の機会も活用して、早期発見・早期治療の重要性について一層のPRを図る。 ③安全運転を継続するための認知症予防の取組（P54） 認知症の進行度合いと運転能力も見極めながら状況に応じた相談対応と、安全運転を続けるために各機関と連携した啓発、介護予防の推進を図る。 (2) 認知症の早期発見と対応 ①認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進（P54） 重度化しない初期段階での発見は困難なため、同チームでの検討事例などについてPRを行い、さらなる早期発見の推進に努める。 ②認知症地域支援推進員の活動の推進（P55） 若年性認知症の支援についてもノウハウを蓄積し、取組の検討を行う。 ③物忘れ相談の推進（P55） 認知症は、早期発見・早期治療が重要なため、自覚症状の有無にかかわらず、集客多数の事業と組み合わせ一人でも多くチェックするような取り組みに努める。 (3) 認知症になっても地域で安心して暮らせる取組 ①認知症ケアパスの普及（P57） 認知症の本人、家族にさらに利用いただけるよう一層PRに努めたい。 ②認知症サポーター養成講座（P57） 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座修了者の有志で発足した「チームオレンジ」の活性化と活動支援、専門職との連携強化を目指す。 ③滝川市徘徊（はいかい）高齢者等 SOS ネットワーク事業（P58） ケアマネジャーや事業所等と連携の上、今後、さらに登録者数の増加に努めたい。 ④認知症カフェ支援事業（P58） 新型コロナ流行により開催を休止している箇所もあるが、認知症地域支援推進員を中心として、認知症カフェの運営支援や相談対応に努める。 認知症予防は、普及啓発や予防講座の実施とともに、認知症の早期発見と認知症になっても安心して暮らせる地域社会を作り出していく必要があるため、各種事業の継続した周知活動、関係機関等へ出前講座・相談を幅広く実施していきたい。 ⑤認知症本人の会「すまいる」
--------	---

	介護事業所、医療機関の協力を得ながら認知症本人の発した声、思いを聞き望まれる支援、有効な対応について探り周知する。 ◎コミュニティ農園畑楽（はたらく） 地域の人とつながりながらできることに取り組み、認知症本人の能力が活かせる活動を目指す。
--	---

事業名	地域における支え合いの推進	結果	△																								
現状と課題 具体的な取組	高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加など、今後ますます様々な支援を必要とする高齢者が増加することを踏まえ、多様な主体による外出や家事、見守りや安否確認などの介護予防・生活支援サービスを提供していくことが求められている。 地域住民や社会福祉協議会、ボランティア、NPO 法人、民間企業、介護サービス事業者などの参画のもと、「協議体」を組織して、介護予防・生活支援サービスの創出・充実に取り組むとともに、支援を必要とする高齢者のニーズと地域資源との効果的な組み合わせや、元気な高齢者等にサービスの担い手として活躍していただく場の設定などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、介護予防・生活支援サービスの提供体制の整備を推進する。																										
事業内容 取組実績	（１）生活支援体制整備事業 滝川支え合い会議（１層協議体）の開催、生活支援コーディネーターを中心に研修、実態把握、情報共有・交換、コーディネートを行い、支え合いの体制づくりに取り組む。「見守り・支え合い研修会」の開催から、第２層協議体（各小学校区＋東滝川）を７か所中４か所（東滝川・第二小校区、江部乙小校区、西小校区）で立ち上げる。高齢者が集まる地域の通いの場と学生ボランティアとのマッチングを開始。「支え合い通信」発行、ホームページを利用した情報発信を行った。 （２）ボランティア活動の支援・推進体制の整備 滝川市社会福祉協議会との連携の上、生活支援や介護予防の担い手となるボランティアの確保に向けて、普及啓発等に努めた。 支えあい・いきいきポイント事業により、滝川市ボランティアセンターとの連携を図り、ボランティア活動の推進を実施した。 （３）地域見守り活動の推進 ①滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワークの充実 早期の通報により対応できている。虐待相談件数は横ばいである。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>虐待相談件数</td><td>実績</td><td>10件</td><td>7 件</td><td>8 件</td></tr></table> ②滝川市高齢者見守り安心ネットワークの充実 関係機関等からの緩やかな見守りから、適切なサービスにつなげることができている。 （高齢者見守り安心ネットワーク） <table><tr><td colspan="2"></td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td rowspan="2">ネットワーク 協力団体等数</td><td>計画</td><td>122団体</td><td>124団体</td><td>126団体</td></tr><tr><td>実績</td><td>123団体</td><td>125 団体</td><td>127 団体</td></tr></table> ③地域福祉活動推進支援事業					R3年度	R4年度	R5年度	虐待相談件数	実績	10件	7 件	8 件			R3年度	R4年度	R5年度	ネットワーク 協力団体等数	計画	122団体	124団体	126団体	実績	123団体	125 団体	127 団体
		R3年度	R4年度	R5年度																							
虐待相談件数	実績	10件	7 件	8 件																							
		R3年度	R4年度	R5年度																							
ネットワーク 協力団体等数	計画	122団体	124団体	126団体																							
	実績	123団体	125 団体	127 団体																							

課題と対応策

(地域福祉活動推進支援事業による助成（滝川市社会福祉協議会事業））

		R3年度	R4年度	R5年度
助成件数	計画	1件	1件	1件
	実績	0件	0件	3件
助成金額	計画	100,000円	100,000円	100,000円
	実績	0円	0円	300,000円

④ふれあい電話（滝川市社会福祉協議会事業）

		R3 年度	R4年度	R5 年度
利用実人数	計画	300人	310人	320 人
	実績	201人	177人	－ 人

(1) 生活支援体制整備事業（P60）

新型コロナの行動制限が緩和され、人の集まりや行事が再開している。その中で、新たな活動に意欲的な人達が出てきて、地域が一気に動き出している。思いがある時にタイムリーに関わるには、生活支援コーディネーター1 名では対応が追い付かない状況である。そこで、生活支援コーディネーター1 名増員し、第2 層協議体の立ち上げや「通いの場」「生活支援」などの地域活動スタートアップ支援をスピード感をもって行う。なお、新たな視点を持った人材を求め、地域おこし協力隊の制度を利用。

(2) ボランティア活動の支援・推進体制の整備（P60）

今後予想される高齢化の進展と介護人材不足の深化に備え、より一層のボランティア活動の推進を要する。

(3) 地域見守り活動の推進（P61）

①滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク（P61）

高齢者等の虐待に対して、迅速かつ適正な解決を図るとともに、虐待が発生しない地域づくりを推進するため、課題の情報交換・研修会等実施する。

②滝川市高齢者見守り安心ネットワークの充実（P62）

ネットワーク協力団体等数の拡大を図り、ネットワークを充実させ、見守り意識の向上、通報の徹底に取り組む。

③地域福祉活動推進支援事業（P63）

支援が必要な高齢者等を地域ぐるみで支えるため、事業内容の検討を行い、町内会、民間団体などを通じて積極的なPR が必要。

④ふれあい電話（滝川市社会福祉協議会事業）（P63）

高齢者に役立つ情報や各種サービスの紹介はもとより、振り込め詐欺や悪徳商法等の情報もいち早く提供できるよう滝川市社会福祉協議会との連携を強化。

事業名	介護人材の育成と確保	結果	○																								
現状と課題 具体的な取組	国は、2025 年度末には約 55 万人の介護人材の確保が必要であるとして、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入れ環境整備など、総合的な介護人材対策に取り組んでいる。 現在の介護分野における人材不足は深刻であり、また、2025 年以降、担い手となる現役世代の減少が顕著となる中で、地域の高齢者介護を支える介護人材の確保や介護業務の効率化に係る取組が必要。																										
事業内容 取組実績	○介護についての関心を高め、上位研修受講へのきっかけづくりとして、入門的研修を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和 3 年度</th><th>令和 4 年度</th><th>令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加実人数</td><td>40 人</td><td>22 人</td><td>20 人</td></tr> <tr> <td>基礎講座修了者※</td><td>39 人</td><td>21 人</td><td>20 人</td></tr> <tr> <td>入門講座修了者</td><td>34 人</td><td>17 人</td><td></td></tr> </tbody> </table> 令和 3 年度は、北海道社会福祉協議会に依頼。令和 4 年度は、自前で実施。 令和 5 年度は、基礎講座と入門講座の一部を 2 日間で実施。 ○介護のしごと魅力アップ啓蒙啓発事業 介護について身近に知ってもらう機会の一つとして、図書館で行う小学生対象の調べ学習に介護コースを新設して実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和 3 年度</th><th>令和 4 年度</th><th>令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td><td>-</td><td>14 人</td><td>10 人</td></tr> </tbody> </table> 高齢者施設の紹介、車いす体験、介護ロボット体験、調べ学習、ボランティアセンター紹介を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、施設内への立ち入りができず、外観を見学し、施設内の説明は写真を使って介護福祉課職員が行った。 子供達は「介護について知りたい。」「おばあちゃんとうまく話せるようになりたい。」との思いで参加。体験などにも積極的に参加し、予想以上に小学生も介護について知りたい気持ちがあることが分かった。 ○広報特集・情報提供（LINE）等 「介護のしごと」として、令和 4 年広報たきかわ8月号の特集記事を掲載。介護現場でいきいきと働く若い職員の紹介など関心を持って見ていただき、入門的研修の申し込みにもつながった。また、高齢者のお役立ち情報として、市公式 LINE による情報提供を行った。				令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	参加実人数	40 人	22 人	20 人	基礎講座修了者※	39 人	21 人	20 人	入門講座修了者	34 人	17 人			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	参加者	-	14 人	10 人
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度																								
参加実人数	40 人	22 人	20 人																								
基礎講座修了者※	39 人	21 人	20 人																								
入門講座修了者	34 人	17 人																									
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度																								
参加者	-	14 人	10 人																								

課題と対応策	○入門的研修 入門的研修は、学生や就労者も参加しやすいよう、土曜日に開催することで幅広い年齢層の受講者となった。受講目的は、自分や家族の為に学習したい意向が多く、直接介護の仕事につながることはなかったが、上位研修を受講した人、体操サポーターやチームオレンジ参加につながった人がおり、新たな人材発掘につながった。 入門的研修の基礎講座と入門講座合わせて21時間の講座は、参加者にも実施する側にも負担が大きい。また、制度上は介護職員初任者研修など上位研修受講の際に一部免除が可能だが、実際は免除されていないことが多く、メリットが少ない。 年齢を問わず、介護について知り、身近に感じてもらう機会として、研修は継続して行うが、日数を短く気軽に受けてもらえるようにする。介護事業所の協力を得ながら、研修後希望者には介護施設の見学・体験の機会を設ける。 ○介護のしごと魅力アップ啓蒙啓発事業 たきかわDE 調べる学習は、他のメニューと比べて娯楽性が低いため応募があるのか心配したが、予想以上の応募があり、小学生でも純粋に知りたいと思う気持ちがあることがわかった。コロナ感染で直前になって施設見学が中止となったため、あらゆる事態を想定した内容の検討が必要。 広報たきかわ特集記事は、多くの人の目に触れる機会となり有効であるが、同じ内容を続けて掲載するわけにはいかないため、新たな取り組みが始まる時に掲載できるのが理想。他の掲載計画とのバランスもあり、調整が必要。 たきかわDE 調べる学習介護コースを継続し、小学生やその保護者へ向けて普及啓発を行う。施設の協力を得られれば、参加後に施設見学や体験参加ができるような体制を取る。 市公式 LINE を通じた情報提供は今後も積極的に行う。
--------	--

事業名	災害・感染症対策に係る体制整備	結果	○
現状と課題 具体的な取組	近年の災害の発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、次の取組を推進する。 1 介護事業所等と連携し防災や感染症対策についての周知啓発や情報の共有。 2 関係部局と連携して、介護事業所等における災害や感染症の発生時に必要な物資についての備蓄・調達・輸送体制の確立。 3 道、市、関係団体が連携した災害・感染症発生時の支援・応援体制を構築し、平時から ICT を活用した会議の実施等による業務のオンライン化の整備。		
事業内容 取組実績	○感染症対策に係る国・北海道からの通知を事業所へのメールでの即時発信。 ○介護事業所等が感染拡大した際に、空知総合振興局と連携を図り、感染防護具、消毒液その他の感染症対策物品の速やかな配布や不足する人員に対する北海道の支援策を情報提供するなど緊急対応へ繋がるよう支援を行いました。 （緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金等） ○感染症発生時には、オンライン会議を実施。（介護認定審査会、自立支援サポート会議、ケアプラン点検講習会、事業所ネットワーク会議、加算事業所事例検討会、在宅医療・介護連携推進会議） ○平時においてもオンライン会議可能な会議は継続して実施。		
課題と対応策	○感染症対策の強化 令和3年度制度改正により、介護サービス事業者には、感染症の発生及びまん延等に関する取組の徹底を求める観点から、委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施が R6 年度から義務づけられる。（R5年度までは努力義務）。適切に実施できているか運営指導により確認する必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設に対する支援等 北海道により実施している緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金等（感染者が発生した施設等への支援・かかり増し経費、職員の確保等に向けた支援・施設内療養を行う施設等への支援）について、介護事業者が支援の対象に該当した場合に漏れなく受けられるよう引き続き支援していく。 ○平時においてもオンライン介護可能な会議は引き続き実施していくとともに、他の会議等においても ICT を活用したオンライン会議の実施の可否について検討していく。		

事業名	高齢者の住まいの確保	結果	○																																				
現状と課題 具体的な取組	公営住宅については、老朽化した団地の建替整備を推進し、平成8年度以降に管理開始した474戸全ての住宅について高齢者対応のバリアフリー仕様となっている。 昭和50年5月に滝川市が開設し、平成29年7月に建替整備が行われた「滝川市養護老人ホーム緑寿園」があり、老人福祉法による措置が必要とされる65歳以上で心身の状況や環境を総合的に勘案し在宅生活が困難な方が入所している。																																						
事業内容 取組実績	1 公営住宅の整備 公営住宅については、高齢者世帯が多く居住する老朽化した団地の建替整備を計画的に推進する。 【事業実績】 ● 公営住宅建替整備状況 令和2年度～令和4年度 実績なし ● 高齢者向け住宅等の整備状況 ・高齢者対応バリアフリー仕様 令和4年度末 474戸 ・高齢者向け住宅 令和2年度末 98戸 → 令和4年度末 100戸 ・高齢化対応住宅 令和4年度末 782戸 2 民間等住宅の整備 市内における民間による高齢者向けの住宅等は、今後の高齢者数の増加を踏まえ、身体機能や認知機能の低下、安否確認などに対応した高齢者世帯向け住宅等の整備を支援した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>事業所名</th><th>定員</th><th>概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)</td><td>グループホームコスモス</td><td>18</td><td rowspan="8">認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。</td></tr> <tr> <td>グループホームカルミア</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホームともだちの家</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホーム土筆</td><td>18</td></tr> <tr> <td>ニチケアセンター滝川</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホームくらす</td><td>9</td></tr> <tr> <td>ニチケアセンターせせらぎ公園</td><td>9</td></tr> <tr> <td>グループホーム土筆の郷</td><td>18</td></tr> <tr> <td rowspan="4">有料老人ホーム</td><td>フルールハピネスたきかわ</td><td>56</td><td rowspan="4">食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。</td></tr> <tr> <td>あおぞら</td><td>55</td></tr> <tr> <td>北のユートピア寿泉</td><td>40</td></tr> <tr> <td>あったか館</td><td>19</td></tr> <tr> <td>サービス付き</td><td>カーサシーザース</td><td>39</td><td>入居者の安否確認や生</td></tr> </tbody> </table>			種別	事業所名	定員	概要	認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	グループホームコスモス	18	認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。	グループホームカルミア	18	グループホームともだちの家	18	グループホーム土筆	18	ニチケアセンター滝川	18	グループホームくらす	9	ニチケアセンターせせらぎ公園	9	グループホーム土筆の郷	18	有料老人ホーム	フルールハピネスたきかわ	56	食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。	あおぞら	55	北のユートピア寿泉	40	あったか館	19	サービス付き	カーサシーザース	39	入居者の安否確認や生
種別	事業所名	定員	概要																																				
認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	グループホームコスモス	18	認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。																																				
	グループホームカルミア	18																																					
	グループホームともだちの家	18																																					
	グループホーム土筆	18																																					
	ニチケアセンター滝川	18																																					
	グループホームくらす	9																																					
	ニチケアセンターせせらぎ公園	9																																					
	グループホーム土筆の郷	18																																					
有料老人ホーム	フルールハピネスたきかわ	56	食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。																																				
	あおぞら	55																																					
	北のユートピア寿泉	40																																					
	あったか館	19																																					
サービス付き	カーサシーザース	39	入居者の安否確認や生																																				

	高齢者向け住宅	カーサシーザーズ2号館	29	活相談サービスを提供し、バリアフリーを施した住宅。食事は自炊も可能で、内部の介護サービスも受けることができる。
		土筆	37	
		ゆい	81	
		エバーサポート山一	20	
		カーサシーザーズ3-3	52	
	養護老人ホーム	滝川市養護老人ホーム 緑寿園	50	60歳以上、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった方が対象。
	軽費老人ホーム	ケアハウスメゾンふるーる	50	60歳以上の自炊ができない程度の身体機能の低下があり、一人暮らしに不安があって家族からの援助を受けることが困難な方が対象。
		滝川市ケアハウス緑寿園	50	
	介護老人福祉施設	滝川市特別養護老人ホーム緑寿園	200	常に介護が必要で、家庭での生活が困難な方が入所する施設で、食事や排せつなど日常生活上の介護や身の回りの世話を受けることができる。
	介護老人保健施設	滝川市老人保健施設 ナイスケアすずかけ	100	病状が安定し、病院から退院した方などが在宅生活に復帰できるよう、リハビリテーションを中心とする医療ケアと介護を受けることができる。
		介護老人保健施設シーザーズ	70	
	その他の 高齢者世帯向け住宅	西町ふれ愛ホーム	9	高齢者向け住宅
		シニアシェアハウス土筆の郷	18	高齢者に配慮したナースコールやバリアフリー対応の住宅。

3 養護老人ホーム

市内には昭和50年5月開設の「緑寿園」があり、低所得者で身寄りがないなど家族の援助を受けられない在宅生活が困難な方が入所している。

○滝川市からの養護老人ホーム緑寿園入所者数（定員50人）

	R3年度	R4年度	R5年度
延利用者数	470人	459人	480人
月平均利用者数	39人	38人	40人

課題と対応策	1 公営住宅の整備（P66） 公営住宅については、既存住宅を活用しながら、計画的に建て替えを行っている。 2 民間等住宅の整備（P66） 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホームなどの様々なサービスを受けることのできる住宅や、低所得者向けの住宅など、民間による各種高齢者世帯向け住宅等の整備に対する支援を継続するなど、引き続き高齢者の住まいの確保を推進する。 3 養護老人ホーム（P68） 養護老人ホーム入所申請は緑寿園の入所希望が多く、入所待機者が発生することもあることから、緊急性のある場合は、市外の養護老人ホームへの入所調整を要する。
---------------	---

事業名	社会参加と交流の推進	結果	○																																				
現状と課題 具体的な取組	高齢者人口が増加しているが、老人クラブ会員数は減少傾向にあり、入会者数の減少により、存続が困難な老人クラブが発生している。 老人クラブ連合会事務局の移転を契機に、新たな会員数増に向けた取り組みが必要。																																						
事業内容 取組実績	1 高齢者の生きがいづくり (1) 老人クラブの活性化 老人クラブ活動は昭和 35 年から始まり、現在 16 の単位老人クラブが、地域美化活動やボランティア活動、趣味やレクリエーション等の多様な活動に取り組んでおり、滝川市老人クラブ連合会においても、健康推進・交通安全・女性活動・奉仕活動などの取組を全市的に推進し、高齢者の健康づくり・生きがいづくりなどの活動に取り組んでいる。また、同連合会では滝川市よりサロン事業を受託し、老人クラブ加入の有無に捉われない高齢者の交流の場を開設、学習会や研修会を実施しながら老人クラブ会員数の減少や解散抑止に努めている。 ○老人クラブの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位クラブ数</td><td>18 クラブ</td><td>16 クラブ</td><td>19 クラブ</td></tr> <tr> <td>会員数</td><td>560 人</td><td>470 人</td><td>550 人</td></tr> </tbody> </table> (2) 敬老事業の実施 敬老事業実行委員会を組織し、88 歳・100 歳を迎える方に祝い状及び祝い品を贈呈し、高齢者に対する長寿の祝福と敬老の意を表するための取組を行った。 ○贈呈対象者の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88 歳贈呈者</td><td>280 人</td><td>275 人</td><td>329 人</td></tr> <tr> <td>100 歳贈呈者</td><td>21 人</td><td>23 人</td><td>27 人</td></tr> </tbody> </table> 2 高齢者の積極的な社会参加の促進 滝川市シルバー人材センターにより、屋内外の一般軽作業、施設管理、サービス分野における補助作業等を提供し、地域における高齢者の就業の場の確保と就業促進、健康と生きがいづくりを図った。 ○滝川市シルバー人材センターの提供業務実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録会員数</td><td>300 人</td><td>236 人</td><td>—</td></tr> <tr> <td>受注件数</td><td>4,316 件</td><td>4,493 件</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>				R3 年度	R4 年度	R5 年度	単位クラブ数	18 クラブ	16 クラブ	19 クラブ	会員数	560 人	470 人	550 人		R3 年度	R4 年度	R5 年度	88 歳贈呈者	280 人	275 人	329 人	100 歳贈呈者	21 人	23 人	27 人		R3 年度	R4 年度	R5 年度	登録会員数	300 人	236 人	—	受注件数	4,316 件	4,493 件	—
	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																				
単位クラブ数	18 クラブ	16 クラブ	19 クラブ																																				
会員数	560 人	470 人	550 人																																				
	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																				
88 歳贈呈者	280 人	275 人	329 人																																				
100 歳贈呈者	21 人	23 人	27 人																																				
	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																				
登録会員数	300 人	236 人	—																																				
受注件数	4,316 件	4,493 件	—																																				

課題と対応策	1 高齢者の生きがいづくり（P69） 高齢者の人口増に老人クラブ会員数が比例していない状況であり、各単位老人クラブの高齢化、入会者数減少により解散する老人クラブが発生している。 老人クラブに参加することにより、外出機会が増え、事業などの活動に参加することにより、身体機能の低下や介護予防につながることから、老人クラブだけでなく、町内会などからの協力をいただき、老人クラブへの参加促進のための検討が必要。 2 高齢者の積極的な社会参加の促進（P70） 定年延長や再雇用制度などを活用している人が増えてきており、登録会員数の維持が困難になりつつあるが、さらなるPRを行い会員数の登録確保に努める。
--------	---